第3学年4組  かがやきタイム活動案

平成15年10月15日（水）第5校時
場 所 第2音楽室
指導者 近田 郁子
ゲストティーチャー 6名
在籍 男子15名 女子15名 計30名

1 単元名 「とびだせ！とちの子たんけんたい」

————おまえのむかし、見～つけた ————

2 単元について

(1) 価値
児童は、毎日、地域の中で生活をしている。しかし、その生活の場である「地域」を特に意識したり、考えたりすることは少ない。また、近年の生活様式や環境の変化により、地域の人たちとじっくりと触れ合うという経験もあまりしていない。

cこのような児童にとって、自分たちの地域に目を向け、地域やそこに住む人と触れ合い、よさを見つけ、自分と地域とのかかわりをしっかりと意識し、自分もまた地域の一員であるということを自覚することは大切なことと考える。
また、尾間木地区に昔から住んでいる人や、祖父母と一緒に生活している児童も少なく、この地域の歴史や文化について知っていることはほとんどない。

そこで、本単元での尾間木の昔を探す活動を通じ、人々が生活の中で培ってきた知恵や工夫、思いや願い、文化や伝統を知り、地域や人々のよさを実感することによって、地域の人たちに感謝や畏敬の念をもち、地域の中に生きている自分自身の存在を実感することは価値あることと考える。

(2) 児童の実態
本学級の児童は、明るく素直で、落ち着いて学習に取り組んでいる。
児童は、3年生になって初めて出会う総合の学習に、戸惑いながらも大きな興味・関心と意欲を見せており、1学期の「尾間木のたんけんたい」の単元では、校庭のとちの木について詳しく知っている地域の方を自分たちで探し、進んでインタビューし、聞いてきたことを喜んで発表していった。また、公民館や病院、スーパー、図書館、公園、畑など、自分が地域の宝だと考えるものについて2回の採検を行い、そのあかしを見つけるために意欲的に活動していった。

しかし、なかなか課題がはっきりしなかったり、何をどのような方法で調べ、誰に何を聞けば課題解決に迫れるのか考えつかなかったりする児童もあり、個別指導を行ってきた。

本単元では、とち作りという共通体験を通して地域の方と交流し、その方が子どもだった頃の尾間木の生活や様子を興味・関心をもたせ、さらに、疑問に思ったことやもっと知りたいことについてインタビューしたり、実際に昔の遊びや生活を体験したりすることで、自分の課題をしっかりとつかませる活動をさせる。
さらに、自分の決めた課題について、自分なりの解決方法がしっかりともてるよう一人一人支援していくことが必要である。
3 研究の視点

中学年ブロックの目標
○ 周りの人とともに活動できる子
○ 自分の思いを生き生きと伝えられる子
○ 友達のよさを認め、自分の課題に向かって進んで取り組める子

研究の視点

単元構成の工夫
○ 課題をしっかりとまとませるために、ねらいにそった体験活動を取り入れる。
○ 3年生の実態を考慮し、探究の楽しさを十分味わわせるために、直接体験を重視する。
○ 見通しをもって活動に取り組むために、活動ごとの振り返りをする。
○ 学習過程を固定化して捉えるのでなく、児童の意識にそって柔軟に対応する。
○ 児童の思いや考えを深めるために、意見交流の場を設ける。
○ 児童の思いや願いにあわせ、活動場所、活動形態を工夫する。

支援のあり方
○ 一人一人が価値ある課題をつかめるよう、状況をしっかりと捉え、個に応じた支援をする。
○ イメージマップを活用し、一人一人が課題をつかみやすくする。
○ 支援記録表をもとに、課題追究していく上でのつまづきに対し、適切な助言をする。
○ 「ふりかえりカード」を活用し、自己評価するとともに、次の活動につなげていくようにする。
○ 校外での活動の安全確保のため、保護者に対し、文書で協力をお願いする。

学習の生活化
○ 調べたことや体験したことを発表し合い、互いのよさを認め合えるようにする。
○ 課題解決したことを、家族や地域の人にわかりやすく伝えることができるようにする。
○ お世話になった地域の方にお礼の手紙を書き、自分と地域のつながりを意識できるようにする。
4 活動計画

(1) ねらい
○尾間木の昔の様子や生活に関心をもち、地域の人とかかわりながら調べたり体験したりする中で、地域のくらしの中に息づいている知恵や文化に触れ、そのよさや大切さに気付く、地域に対する愛着をもつことができる。

(2) 評価
○友達や地域の人と活動し、友達の考え方や探究の仕方のよさ、地域の人知恵や工夫に気付くことができる。
○昔の尾間木の様子や生活について、調べたり、体験したり、考えたりしたことを自分の選んだ方法で相手に伝えることができる。
○昔の尾間木の様子や生活に関心をもち、課題を見つけ、自分なりの方法で追究し、地域のよさや人々のくらしの工夫などを考えることができる。
○身近な地域や人とかかわり、理解を深め、愛着をもち、地域の一員として意識的に生活しようとする。

(3) 活動計画

<table>
<thead>
<tr>
<th>学習活動</th>
<th>☆支援</th>
<th>◎評価</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>とちぶえをつくろう</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

1. とちの実でどんなことができるか調べる。
   - とち砧、とちもち、こまなど

2. とち砧を作りながら、尾間木の昔の様子やくらしぶりについて地域の人との話し聞く。
   - 地域の人との交流
   - 昔の遊び道具としてのとち砧作り
   - 尾間木の昔の様子やくらしぶりへの興味・関心

☆周囲にある古い農具などにふれ、地域の尾間木の昔に関心をもたらす。
☆とちの作り方を知っている地域ボランティアにお願いし、事前に打ち合わせをしておく。

◎地域の人と活動したり昔の話を聞いたりして、尾間木の昔の様子やくらしぶりに興味をもつことができる。
(かかわり合う力・学び方・ものの考え方)
<table>
<thead>
<tr>
<th>1</th>
<th>学校や地域に残っている古いものを探して調べる。②</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2</td>
<td>地域の人に教えてもらいながら、自分の興味をもったことを実際に体験してみる。③</td>
</tr>
<tr>
<td>つ</td>
<td>七輪でもちやき</td>
</tr>
<tr>
<td>か</td>
<td>リアカー引き</td>
</tr>
<tr>
<td>む</td>
<td>昔のお菓子作り</td>
</tr>
<tr>
<td>②</td>
<td>昔の掃除、洗濯</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>疑問に思ったことやさらに詳しく知りたいことをインタビューする計画を立てる。①</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>インタビューしてわかったことを情報を交換する。</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>自分の課題を設定する。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(住居、食べ物、仕事、衣服、道具、町並み、自然など) ①</td>
</tr>
</tbody>
</table>

☆地域ボランティアの方の一覧を作り、積極的にかかわれるようにする。
☆体験を通じて、自分が調べたいことを明確にできるようにする。
☆知りたいことをなるべく具体的に考えさせるようにする。
☆同級グループで発表し合い、わかったことを確認する。
☆一人一人が自分の課題を見つけられるよう助言する。

チャレンジ、おま木のむかし博士

<table>
<thead>
<tr>
<th>1</th>
<th>課題解決のための方法を考える。②</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2</td>
<td>地域の人に自分の知りたいことを聞きに行く。④</td>
</tr>
<tr>
<td>②</td>
<td>クラスを解体し、課題の同じグループで話し合いをし、調べ方を考える。</td>
</tr>
<tr>
<td>④</td>
<td>あらかじめ、どのようなことを知りたいか、お願いの手紙を書いておく。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

⑥昔の話を聞いたり、昔の生活を体験したりすることで、自分の課題を見つける、解決していこうとする意欲をもっている。（学び方、ものの考え方）
おま木のむかし、見つけた

1. いろいろな方法で調べたことや、聞いてわかったことをまとめる。
2. 情報交換会をする。
   ・課題と追究活動の関係
   ・追究活動の工夫と改善の方向
3. 「おま木のむかし発表会」を開き、友達、家の人、地域の人にお伝えやすく伝える。
4. 友達の発表を聞いて感じたことや思ったことをカードにまとめる。
   ・相互評価
5. お世話になった地域の方に、感謝の気持ちを込めて、手紙を書く。
   ・学習成果の確認
   ・地域の方との交流
6. 今までの学習を振り返って地域と自分とのつながりについて気付いたことをまとめる。
   ・地域の一員としての自分
   の生き方

☆インタビューの仕方、資料の調べ方など、課題追究の方法を助言する。

☆哪にどのような方法で、何を伝えたいか考えるようにする。
☆課題の異なるグループで行い、友達のアドバイスを参考にしてさらにわかりやすくまとめるようにする。
☆参観日を利用して、保護者やお世話になった地域の人を招待し、発表を聞いてもらう。

☆振り返りカードや学習の記録をもとに活動を振り返り、地域のよさに気付かせるとともに、地域の一員としての自分の生活について考えるようにする。

地域の人や友達とかわかりながら、課題を追究している。
(かかりあう力・学び方・ものの考え方)

友達の発表に対し、適切なアドバイスをしている。
(かかりあう力)

必要な情報を集め、自分なりに工夫した方法で、わかりやすく発表している。
(表現力)

地域への愛着をもち、地域の一員として意欲的に生活しようとする気持ちをもっている。
(自己の生き方)
5. 本時の学習（3/45時間）
(1) ねらい
○地域の人とちち製作をしたり、昔の話を聞いたりして、尾間木の昔の様子やくらししばりに興味・関心をもつことができる。

(2) 展開

<table>
<thead>
<tr>
<th>学習活動・内容</th>
<th>☆支援</th>
<th>◎評価</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1 本時の学習内容を確認する。</td>
<td>ともぶえを作ろう</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>・学習のめあて。</td>
<td>☆尾間木の昔の様子やくらししばりが感じられる環境を整える。</td>
<td>◎地域の人とかかわって、ちち作りを楽しむことができている。</td>
</tr>
<tr>
<td>・活動の仕方・時間・安全確認</td>
<td>☆児童6名に地域の人1名のグループをつくり、楽しく交流できるような雰囲気作りに配慮する。</td>
<td>◎地域の人との話から尾間木の昔のくらししばりに興味・関心をもっている。</td>
</tr>
<tr>
<td>2 ちち作りをする。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>①ちち作りを通した地域の人々とのかかわり。</td>
<td>☆安全に注意する。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>②昔の遊びとしてのちち作りや古い道具を手掛かりとした尾間木の昔の様子やくらししばりについての気付き。</td>
<td>☆昔の遊びとしてのちち作りや昔の道具などを手掛かりにして、地域の人々の様子や食べ物、子どもの遊びなどについて話してもらう。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3 後片付けをする。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4 本時の活動をふりかえり、学習のまとめをする。</td>
<td>☆ちち作りの満足感を評価したうえで、尾間木の昔に係る児童の感想を取り上げ、本単元の主題について興味・関心が向くようにする。</td>
<td>◎尾間木の昔のくらししばりに興味・関心をもち、探究の意欲をもつことができている。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

・ちちを作って遊ぶ活動の評価。
・調べてみたいことを発表する。
・尾間木の昔に対する興味・関心と活動意欲。
＜配置図＞

＜資料＞

「おまま木のむかし、見～つけた」 イメージマップ

名前（ ）

食べ物

しごと

道ぐ

おまま木のむかし、見～つけた

ふくそう
### ふりかえりカード「おまかすのむかし、見つかった」

<table>
<thead>
<tr>
<th>月日</th>
<th>学習のよてい</th>
<th>学習のふりかえり</th>
<th>自こひょうかよくできた□できた○もう少し△</th>
<th>先生から</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 学習活動カード

とちぶえを作ろう

名前（  ）

○作って思ったこと

○話を聞いて、もっと知りたいと思ったこと。